



認知症とは、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなつたためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障がでている状態をいいます。認知症という言葉は知っていても、「親や身近な人が、認知症になつたらどうすればいいかわからない」そんな不安を抱いている方は多いのではないでしょうか。そもそも認知症って何? どう接したらいいの? 予防や治療方法は? どこに相談するの? みなさんは認知症のこと、ここまでご存知ですか。

認知症はだれにでもなる可能性のある病気です。他人事ではなく自分たちの問題として、認知症を知ることからはじめませんか。

入場無料

認知症を知る講演会 ～寸劇で見る認知症の人の世界～

日時 9月19日(土)午後2時～午後3時30分
(開場:午後1時30分から)

場所 市民文化センター「アクロス」小ホール



講師 NPO法人認知症ケア研究所「劇団いくり」

内容 認知症の原因や症状、上手な対応のポイントなどを、寸劇を交えて楽しく学べます

申込 9月17日(木)までに電話で申込みください

「劇団いくり」とは?

認知症に関する知識と理解の普及を目指し、茨城県を中心に講演を行っている現役の介護職員による劇団です。日々接しているからこそ分かる認知症の方の“真の姿”。彼らの迫真的演技をぜひご覧ください。



市地域包括支援センター

34-0324

9月は
認知症

9月は

茨城県認知症を知る月間一です!

認知症サポーター養成講座を行っています

市では、認知症高齢者などにやさしい地域づくりを目指し、認知症への理解を深めるための普及・啓発活動として、「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。
「認知症サポーター」とは、なにか特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守ることです。
認知症サポーター養成講座の受講を希望する方は、お気軽に問い合わせください。

9月は

茨城県認知症を知る月間一です!

認知症サポーター養成講座を行っています

認知症サポーター養成講座の受講を希望する方は、お気軽に問い合わせください。



9月10日は下水道の日

— 良い暮らし 地下で支える下水道 —

約54年前、日本はほかの先進国と比べて、下水道の普及が遅っていました。そこで建設省(現在の国土交通省)が、1961年9月10日を「全国下水道促進デー」として制定しました。2001年には、より親しみのある「下水道の日」と名称が変わりました。由来として、下水道は「雨水の排除」を役割に担い、立春から数えて220日目が、台風襲来シーズンである9月10日が「下水道の日」となりました。

結城市下水処理センターの全景

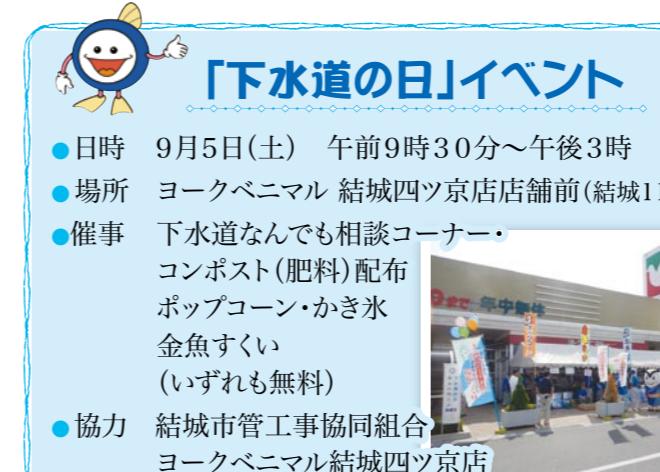
下水道の大切な役割

見学してみませんか?

●暮らしを清潔にする
家庭から出たトイレの水・お風呂の水など、生活をしていく中で発生した污水を、浄化センターできれいな水に浄化します。

●浸水からまちと私たちの身を守る
大雨が降るとまちが雨水で溢れてしまい、道路側溝をとおして、雨水を流すことにより、まちを浸水から守り、私たちの身も守ります。

●水質を保全する
家庭や工場から出た污水は、きれいに浄化してから川に放流するので、水が汚れることはありません。



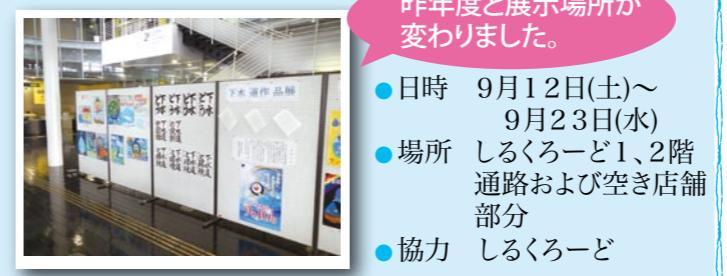
「下水道の日」イベント

- 日時 9月5日(土)午前9時30分～午後3時
- 場所 ヨークベニマル結城四ツ京店舗前(結城11839-1)
- 催事 下水道なんでも相談コーナー・コンポスト(肥料)配布・ポップコーン・かき氷・金魚すくい(いずれも無料)
- 協力 結城市管工事協同組合・ヨークベニマル結城四ツ京店



下水道の日にちなみ、イベントの開催および下水道促進週間コンクール作品の展示を行います。お気軽に立ち寄りください。

下水道促進週間コンクール作品の展示



昨年度と展示場所が変わりました。

- 日時 9月12日(土)～9月23日(水)
- 場所 しるくろーど1、2階通路および空き店舗部分
- 協力 しるくろーど



市下水道課

34-1612

水がきれいになつていく仕組みを、実際にご覧ください。

●見学時間は約1時間です。
●団体・グループでご利用ください。
●事前に下水道課に申し込みください。

見学時間は平日の午前10時から午後3時までです。

下水道の大切な役割

見学してみませんか?